

◎J:COMと社会連携番組を共同制作

学生による「関大生の明るいニュース」の配信開始



関西大学とJ:COM(株式会社ジェイコムウエスト)は、番組を通して地域との関わりを深め、地元地域を盛り上げることを目的に、社会連携番組の共同制作を開始した。この取り組みは、まず、学生たちがグループ単位で設定したテーマに基づいて取材・撮影をし、ナレーションやテロップを加えて5分程度の映像を制作。その映像はJ:COMチャンネル(地上デジタル11ch)の番組「デイリーニュース 北摂」内の「関大生の明るいニュース」コーナーで放送される。番組には実際に映像を制作した学生が出演し、キャスターからの質問に答えたり、感想を伝えたりする。番組は北摂エリアの48万3千世帯に生放送されるほか、地域情報アプリ「ど・ろーかる」や本学ウェブサイトでも視聴することができる。

第1回目の10月31日には体育会重量拳部をテーマに、第2回目の11月27日には兵庫県猪名川町の獅子舞をテーマにした映像を放送。学生たちは緊張しながらも、番組制作の一端に触れる貴重な経験ができた。以降、月に1回程度の配信を目指して活動を続けていく予定である。



▲▼「関大生の明るいニュース」収録の様子



◎社会学部の池内裕美研究室が3種類のグルメメニューを開発

野菜の摂取量アップ！「大阪ええモン 関大Vグルメ」が誕生

社会学部の池内裕美研究室と大阪府、大阪タカシマヤは、産学官連携で3種の野菜グルメメニューを開発した。同商品は、11月13日～26日まで、大阪タカシマヤ地階食料品売場の各店舗にて、オリジナル商品「大阪ええモン 関大Vグルメ」として発売された。

「大阪ええモン」は、大阪の知られざる魅力を発掘して紹介する大阪タカシマヤの名物企画。池内研究室は消費者心理の知識をビジネス現場に生かすことを研究テーマとしており、全国ワーストクラスである大阪府民の野菜摂取量を増やすため、府からアイデアを求められて開発に着手した。

発売されたメニューは、ダイヤ製パン「パストラミポークと5種の野菜サンド」、かなたに「秋のええとこ彩り弁当」、道頓堀今井「イペリコ豚と野菜の旨味たっぷりうどん鍋」の3品。それぞれの商品のネーミングには「野菜をおいしく食べていただけるVegetableグルメで、健康づくりのVictoryを



●ダイヤ製パン「パストラミポークと5種の野菜サンド」



●かなたに「秋のええとこ彩り弁当」



●道頓堀今井「イペリコ豚と野菜の旨味たっぷりうどん鍋」

目指してほしい」という思いが込められた。期間中は、商品開発を手掛けた学生らが店頭立ち、自ら販売をサポート。連日、売り切れが続くなど、好評を博した。

◎関西大学協賛の「大阪マラソン2019」開催

関大生ボランティア、今年も約600人が大活躍



12月1日、今年で9回目となる「大阪マラソン2019」(大阪府・大阪市・一般財団法人大阪陸上競技協会主催)が開催された。「みんなでかける虹。」をスローガンに、応募で選出された約33,000人のランナーが、大阪府庁前をスタート。京セラドーム、天王寺など大阪の名所を通過し、大阪城公園をゴールとする新コースを駆け抜けた。沿道には130万人もの人々が詰め掛け、ランナー一人一人に熱いエールを送った。

関西大学は第1回目からオフィシャルスポンサーとして大会運営に協力し、地元「大阪」を盛り上げるためにさまざまな形で参画してきた。今大会も、ランナーをはじめ、給水ボランティア、チャリティ募金ボランティア、語学対応ボランティアなど、多くの学生と教職員が参加。沿道の「ランナー盛り上げ隊！」では、応

援団、JAZZ研究会、ダブルダッチサークル「Mix Package」、漢舞、フラダンスサークル「coco girl」、ベリーダンスサークル「BELLY DIVAS」、カイザーズクラブキッズチアなどが楽しい応援パフォーマンスを繰り広げ、大会に彩りを添えた。

また、11月29日、30日にはインテックス大阪で「大阪マラソンEXPO 2019」が開催され、「産学連携による研究力」をテーマに関西大学ブースを出展。人間健康学部の河端隆志教授と小田伸午教授のゼミが「ランニングフォームクリニック」を開催し、人間の構造的特徴に基づいた理想的な走行フォームなどについて解説・指導。さらには、河端ゼミが株式会社京伸とともに共同研究しているトレーニングルーム「K-MAX」の展示・体験会も併催した。

◎「まちFUNまつりin関西大学2019」を開催

大学とママ&キッズがつながるキャンパスイベント



12月8日、地域と大学をつなぐイベント「まちFUNまつりin関西大学2019」が、NPO法人関西大学カイザーズクラブ、NPO法人ママふぁん関西、ミズノ株式会社の協力のもと、千里山キャンパスにて開催された。

「地域に開かれた大学」を目指し、今年で5回目を迎えた本イベント。当日は、サッカーや野球などのスポーツ体験をはじめ、サイエンスショーやママたちの特技を生かしたワークショップ、ミズノ流忍者学校、子ども店長企画、うちカフェパーパードリップ体験など、バラエティ豊かな催しが展開され、会場は熱気に包まれた。

また新企画として、本学発の地域交流拠点である丹波市「佐治スタジオ」による農産物の直売会や、駄菓子アイドル「da-gashi☆」のステージパフォーマンス、オリオン株式会社などの阪製菓メーカーの協力による駄菓子配布なども実施。来場者は総勢7,000人にも及び、笑顔溢れる一日となった。



▲ミズノ流忍者学校